

平成29年度第1回独立行政法人工業所有権情報・研修館契約監視委員会
議事概要

1. 日 時：平成29年6月26日（月）10：00～11：40

2. 場 所：独立行政法人工業所有権情報・研修館 2階会議室

3. 出席委員

西澤昭夫委員長、森誠司副委員長、大西達夫委員、上柳雅誉委員、石村光代委員

4. 議 事：

(1) 平成28年度独立行政法人工業所有権情報・研修館調達等合理化計画に基づく点検及び評価について（審議）

(2) 平成29年度独立行政法人工業所有権情報・研修館調達等合理化計画（案）について（審議）

(3) その他

5. 議事の経過

(1) 平成28年度独立行政法人工業所有権情報・研修館調達等合理化計画に基づく点検及び評価について

工業所有権情報・研修館より平成28年度の調達結果の総括を、資料4及び資料4-1,2,3の個別案件資料、参考資料2により説明し、真にやむを得ないものを除き、競争性の確保を図るため、仕様書条件の見直し、説明会から入札等の締切りまでの期間確保等、事業者の入札参加の拡大を図り、全ての案件について競争的手法を取り入れた調達を行ったことを報告。

委員より、特に平成27年度一者応募となった案件について、平成28年度調達において仕様書の見直しを行い該当案件すべてが複数応募となったことについて評価がされた。

また、平成28年度一者応札・応募の案件について、事業の専門性や質の問題等もあるが、複数事業者参入の可能性があれば様々な角度から分析・検討いただきたいとのコメントが委員からあった。

重点的に取り組む分野については、一者応札となった案件もあり課題を残す結果となったが、一連の取り組みにより経費の削減が生じたことを報告。

委員からは、競争環境を整えればもっと効果が出たのではないかというコメン

トがあった。

推進体制については、新たに内部監査制度、内部統制研修を取り入れたことを報告。

(2) 平成29年度独立行政法人工業所有権情報・研修館調達等合理化計画（案）について

工業所有権情報・研修館より平成29年度調達等合理化計画（案）について、資料5を用いて説明を行った。

議論の結果、重点的に取り組む分野の部分について、より趣旨が明確になるよう、記載ぶりを一部変更することとなった。

なお、委員から、一者応札・応募については、可能な限り改善策の検討を行っていただきたいとのコメントがあった。